



令和6年

公開講座

参加
無料

会場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

場所 本学 152 講義室 (第1回～第6回同一)

日時

テーマ

第1回

8月24日(土)
13:00~16:00(含演習)

過去の災害から地域防災を考える
～新しい防災のススメ～

■講師/及川 真一氏

第2回

9月7日(土)
13:00~14:00

災害ごとに変遷するDMAT活動

■講師/大村 範幸氏

第3回

9月28日(土)
13:00~14:00

災害時のこころのケア
～日本赤十字社の心理社会的支援～

■講師/齋藤 和樹氏

第4回

10月11日(金)
18:00~19:30

被災者支援のこれまでとこれから
～能登半島地震を通して考える～

■講師/新川 泰道氏

第5回

10月25日(金)
18:00~19:00

放浪するWHO医師、
ウイルスと出会う

■講師/遠田 耕平氏

第6回

2025年3月頃

認知症マップを学ぶ・つくる会2024

■後日お知らせ予定

ご参加を希望される方は、開催日の1週間前までにQRコードの申し込み
フォーム・電話・FAX・メールにてお申し込み下さい。
参加者の事前申し込みは50名とさせていただきます。



申し込みフォームは
こちら

● 公開講座の受け付けは開始 30 分前になります。

申込用紙はチラシ裏面にあります。

連絡先

日本赤十字秋田看護大学
日本赤十字秋田短期大学

総務課 渡部・浅利

〒010-1493 秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3
電話 018-829-3023 FAX 018-829-3030
E-mail koukaikouza@rcakita.ac.jp

日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学公開講座

	日時	講師	テーマ	概要
第1回 ①	8月24日(土) 13:00～16:00	及川 真一氏 (日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科 講師)	過去の災害から 地域防災を考える ～新しい防災の ススメ～	想定を超える災害が発生した場合、自ら能動的にアクションを起こしていけることが知識を身に付けること以上に極めて重要です。防災を「特殊なもの」と考えるのではなく、「あたりまえのこと」、「普通のこと」として考えることが大切です。過去に対応してきた災害支援の解説と住民向けに展開してきた防災教育について演習を通じてお伝えいたします。演習は体育館で行います。動きやすい、汚れてもよい服装でご参加ください。
第2回 ②	9月7日(土) 13:00～14:00	大村 範幸氏 (秋田赤十字病院 救命救急センター 救命救急センター長)	災害ごとに変遷 するDMAT活動	災害時に迅速に医療支援を行うDMATは、1995年の阪神・淡路大震災を教訓に「がれきの下の医療」として誕生しました。しかし、その後発生する災害は種類も状況も様々であり、支援のルーチンは存在せず、実際の活動は失敗と苦悩の繰り返しです。それでも被災者のニーズにこたえられるよう、少しずつ進歩していくDMATの活動をご紹介します。
第3回 ③	9月28日(土) 13:00～14:00	齋藤 和樹氏 (日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科 准教授)	災害時のこころ のケア ～日本赤十字社の 心理社会的支援～	日本赤十字社(日赤)では、災害救護活動の一環として国際標準に沿った「こころのケア(心理社会的支援)」を行っています。この「こころのケア」は、専門的なカウンセリングを行うことではありません。少し研修を受ければ、誰でもできる人道的支援です。こころのケアは、被災者のみならず、救援者・支援者にも必要です。能登半島地震に派遣された経験も含めて、日赤が行っているこころのケアについてお話します。
第4回 ④	10月11日(金) 18:00～19:30	新川 泰道氏 (ビハーラ秋田 曹洞宗 宝昌寺 住職)	被災者支援のこれ までとこれから ～能登半島地震を 通して考える～	元旦に発生した能登半島地震は、甚大な被害に加えて地理的条件や道路の損壊、寒さや雪、長引く断水など悪条件が重なり、近年でも困窮度の高い災害にもかかわらず、その支援には遅れや乏しさを感じます。昨年は秋田県内各地も豪雨災害で甚大な被害を受け、県外から多くの団体・個人が秋田まで足を運んでいただき、猛暑の中で懸命な支援活動に尽力してくれました。その恩返し、恩送りの気持ちと共に、「能登の現実日本全体の過疎化・高齢化した地方の現実」との危機感も抱きつつ、これからの災害対応について考えていきたいと思います。
第5回 ⑤	10月25日(金) 18:00～19:00	遠田 耕平氏 (秋田赤十字病院 予防接種センター長)	放浪するWHO 医師、ウイルス と出会う	ウイルスは生命の大先輩である。30億年前に地球上に現れ、あらゆる生命と共生している。ほんの30万年前に出現した人類がその全貌を知る由もない。やっとウイルスの姿を見ることができたのはほんの100年前。新たに会おうウイルスと人類はこれからどう向き合うのか?しばし、とりとめのない放浪の旅にお付き合いいただけるなら幸い。
第6回	2025年3月頃	詳細、申込方法 について決まり 次第、ホームページ 等でご案内いた します。	認知症マフを 学ぶ・つくる会 2024	今、認知症のある高齢者の方へ毛糸で筒状に編んだもの(認知症マフ)を用いて癒すケアが広がっています。昨年に引き続き、実践例をもとにマフについてわかりやすくお伝えし、また、実際にマフづくりも行います。認知症のケアを知りたい、誰かの役に立ちたい、ボランティアをしたい方への講座です。

申込用紙

※参加する日に○をつけてください。		① 8 / 24(土)	② 9 / 7 (土)	③ 9 / 28(土)
◆ 申込締切：開催日の1週間前		④ 10 / 11(金)	⑤ 10 / 25(金)	※第6回の申込方法につきましては、別途ご案内いたします。
フリガナ	氏名		電話番号	
			E-mail	
住所	〒			
※参加される方の年代に○をつけてください。				
10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ その他の年代				

ご提供いただいた個人情報につきましては、本講座に関するご連絡及び本学の社会貢献関連事業のご連絡以外には使用いたしません。なお、受付確認後、1週間前後でご連絡いたします。